

3者検討会

野村道建設部長と伊藤道建協会長

拡大に向け取組強化を

建設業効率化で意見交換

道建設部の野村昌信部長と（仮）北海道建設業協会の伊藤義郎会長が二十六日、道建設会館で懇談。建設業経営効率化の取組をテーマに意見を交換した。三者検討会について、伊藤会長は「大変良い取組。拡大に向け、取組を強化してほしい」と要望した。各土現と地方建協が経営効率化協議会を立ち上げたことについても、発注者と受注者がきたんのない意見を交換できる場が設置されたことを双方が評価。今後の取組に期待した。

建設部は、本年度から建設業経営効率化の取組を本格化させており、昨年七月に野村部長が伊藤会長を訪

れ、経営効率化の取組内容や方針について説明。今回は、取組経過や新年度の方針などを説明し、意見を交換した。建設部からは野村部長のほか、吉本幸雄建設管理室長、上原博建設情報課長、市川伸技術管理課長が出席。道建協からは伊藤会長、岩田圭剛副会長らが出席した。

野村部長は、三者検討会や工事費内訳書の提出義務化、職員研修の充実などの取組のほか、各土現と地方建協との協議会設置、土現職員の企業短期研修、優秀業者表彰拡大などの取組成果について説明。伊藤会長は、それぞれの取組について歓迎の意を示し、さらなる取組の強化や拡大に期待を寄せるとともに、協会と

しても協力していく考えを示した。
このほか、品確法への対応などについても話し合われ、今後とも発注者と受注者が意見を交換し、より良い取組にしていくことを確認した。